



2009-2010年度RIテーマ

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	寺澤 一良	幹事	五十嵐 博章	雑誌会報委員長	佐久間 信一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2010年2月第3週号

第2256回



平成22年2月19日(金) 点鐘12:30(曇)

- *ロータリーソング 『手に手つないで』
- *四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

*お客様紹介

本日のゲストスピーカー / 江幡 清子様

《会長挨拶及び報告》 寺澤 一良会長

◆先週の例会の翌日、北原会員から当クラブのホームページが読めないと言う電話を頂きました。確かに画像を開く為には新しいバージョンの画像処理のプログラムが必要であり、常識としては、そのプログラムは無料で配信されていますから、皆さんもインターネットを開設されていれば、当然インストールされていると思うのは、私には常識だと思うことも間違いではないと思いますが、必要がなければ古いバージョンのままであることも常識だと、北原さんに無言で教わりました。早速ホームページを作った人に連絡して、週報のページと会員名簿のページの目に付くところにアクロバットリーダー取得用のアイコンを移動させて頂きました。

又、今日の例会で出井会員から、ホームページを見ようと思ったら URL が解らないので「千葉南ロータリークラブ」では検索できないと言われました。

当分の間 <http://www.chiba-minami-rc.org> で検索してお気に入り登録してご覧頂きたいと思ひます。

これは、何れも私の常識が非常識だったと言う一例でした。

◆先日、米山奨学生の件で地区から詳細の通知が届き、この内容についてカウンセラーをお願いする斎藤国際奉仕委員長に報告をお願いする予定でしたが、本日お休みのようですので私から簡単にお話しさせて頂きます。当クラブが世話クラブでお預かりする米山奨学生の名前

は、「チン ジュエン ティ タイン」といい、ベトナム出身で26歳の千葉大学博士課程2年の女子学生です。

4月からスタートする新規及び継続奨学生の2790地区は23名ですが、全体では1,550名の応募に対して648名の合格が決まったそうです。その内訳は博士課程146名・修士課程330名・学部課程147名・クラブ支援奨学金9名・地区奨励奨学金16名とのことです。国籍地域別では中国52.3%(前年度48.3%)・韓国15.3%(前年度13.8%)・台湾5.5%(前年度6.3%)・その他26.9%(前年度31.7%)です。中国・韓国籍の学生が増えたのは、今年度から同国の学部生にも応募資格を与えたことによるものだと思います。

◆地区のWCS委員会から、2790地区の国際奉仕セミナー(昨年9月10日開催)で説明があったようですが、各国からの協力要請に対して、厳選して協力するための資金のご協力をお願い致します。本件は3月5日の理事会の議題としますが、地区の締切りの3月1日には間に合いませんので事後処理でお願い致します。

◆次に1月8日の理事・役員会及びクラブ協議会でロータリー情報委員会にお願いしました「ロータリーの友」からのアンケート依頼に関しましては、同委員会のご協力により、2月12日に行なわれたゾーン別会議においてアンケート結果報告が出来たとのことで、地区委員からお礼のメールが届いております。尚、アンケートの回収率は95%という高率だったと報告されておりました。

以上、ご報告致します。有難うございました。

《委員会報告》

出席委員会より (北原俊彦委員長)

2009-2010年度上期出席報告

皆出席の方は、19名いらっしゃいます。後ほど記念品を差し上げたいと思ひます。

《ニコニコボックス報告》

☆寺澤 一良会員・五十嵐 博章会員

江幡清子様、ようこそいらっしゃいました。卓話を楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。

☆向後 保雄会員

しばらく欠席が続き、申し訳ございません。3月20日(土)は、私の市政報告会があります。当クラブからも出席

のお返事を頂いておりますこと、誠に有難うございます。まだ着席に余裕がありますので、ご都合の良い方は、是非ご出席下さい。

☆竹尾 白会員

ニコニコボックスの用紙が新しくなり、春らしいデザインに・・・思わず書いてしまいました。 **皆さんもどうぞ！**

本日のニコニコボックス	5,000 円	累計	614,314 円
金の箱	600 円	累計	23,285 円

《出席報告 (会員数43名)》

出席者数 34	欠席者数 9	ビジター 1	修正出席率 100%
---------	--------	--------	------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [トップ](#) [ご利用下さい](#)

千葉RC	月	3/8・29	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	2/23・3/2・9	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	3/16・30	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	3/24・31	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	2/24	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	3/4	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	2/25	京成ホテルミラマレ

本日の卓話



演 題…『人生の本番は還暦から』
卓話者… 江幡 清子様

このような席に声を掛けて頂き、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。私は公務員だったのですが、ロータリークラブとはあまり縁がなく、組合の集まりで話すような感覚でお引き受けしました。無謀というか大胆と言うか、(大変なことを引き受けたというのは)後で知ったわけですが、お断りする機会を逸したということで、お許し頂きたいと思えます。

これだけの皆さんの時間を30分も頂くわけですから、一生懸命話をさせていただきます。

私はもう還暦を過ぎて、もうじき61歳になります。生まれは香取郡多古町というところで、JRの成田駅や佐原駅からいずれもバスで1時間くらいかかり、さらにバス停から15分も歩く、日本昔話に出てくるようなところで育ちました。その後、就職するなら佐原女子高校ということで入学したのですが、入学式の時、校長先生が「うちは良妻賢母を育成する学校です」と言ったので、えーっと思いました。3年間で大分その教育方針に影響されて、素直と言うか従順と言うか、そんな風になりましたが、高度成長真っ只中の昭和42年に千葉県庁に入りました。

民間会社の方が給料が高いのは知ってまして、高校の仲間から「なんで公務員なんかになるの?」と聞か

れましたが、両親の勧めもあり、つぶれる心配がないということで公務員になったわけです。ただ、今の大変な不況の中で県の不正経理問題が出まして、私個人は当事者ではないのですが、本当に申し訳ないと思っています。私も管理職手当てをもらっておりましたので、先日、12万円を振り込んできました。

つぶれることはない県庁ですが、それなりに人員は減らされて仕事は難しくなる一方で、精神疾患の人は格段に増えています。それから、昔はお金のことを口にするのははしたないという風潮でしたが、今は退職金とか年金の話で老後に不安を持っている人たちが大勢います。私も不安を持っています、少しだけ落ち着いていられるのです。その理由について、今からお話したいと思います。

県庁には42年間勤めていましたが、その間、家を3回建てました。私の異業種交流の場はお稽古事だったんですが、友達の一言がきっかけでそれを実行に移したらそうなってしまったということです。

一番初めに入ったところは総務部文書課というところで、和文タイプの係で朝から晩まで打っていました。不満に思う人もいましたが、私は県庁という組織もよくわからず農協の大きなところかな、という程度でしたので、仕事の中身について不満はありませんでした。そして、だれそれは美人だとか、美人がどこどこにいるとか、そんな話が多かったもので、県庁というところは美人が評価させるところなんだ、器量良しに生まれた人はいいなあ、と思ったものでした。生まれつきの顔は変えられませんから、どうしたら女性として美しくなるか、そんなことを考えていました。当時、福祉協議会でやっている「月遅れの本」という雑誌を安く買える制度があり、婦人画報などを購読していましたら、その中に楠本憲吉さんだと思うんですが、「美しい女性とは、知性と雅性と安定性を備えた人である」と書いてあり、顔立ちとかスタイルとかは書かれていなかったもので、非常に共感した覚えがあります。そして、雅性はお稽古事によって身につくとありましたので、お琴の先生を探して習い始めました。最初は昭和44年から成田の山田流の先生についていたのですが、昭和46年に千葉の生田流の先生につきました。日本の家元制度というのは、物凄くお金がかかるもので、月謝以外にもなんだかんだとお金がかかりました。それでその事を話したら、その当時、一緒に習っていたお金持ちのお嬢さんから、「もらった給料の中でなんとかしようとするだけで、稼ぐことを考えていない」と言われて、稼ぐという発想は公務員にはなかったのでびっくりしました。

そのうち昭和60年に男女雇用機会均等法が公布され、女性も男性と同じように働かなければならないということになりました。それまでは雑用というか、そんなに難しい仕事をやっていませんでしたので、お稽古事はたっぷりできました。そこでお琴のお稽古を止めることにしたのですが、今までお稽古事につき込んでいたお金を何に使おうか、そうだ、家を買おうと思いました。ローンが払えるような額をそれまで払っていたわけです。

昭和62年暮れには地震がありまして、1DKの公団住宅の中ががちゃがちゃになり、よし、来年になったら買お

